

福岡大学病院改革プラン実現のための外傷蘇生センター設立

外傷蘇生症例の集約化

魅力的な研修制度で
医療人材確保

【福岡地域と当院の実情】

- 福岡糸島医療圏とその周辺 (人口約265万人)
- 福岡県内4つの大学病院で役割分担 (外傷診療施設機能評価認可申請中)
- 救命救急センター (3次救急) で年間約500-600名の重症患者受け入れ実績。専門医約20名が常駐体制。
- 2024年新本館開院・救急医療拡充 (手術室増室、特定集中治療室増床)



行政連携型 外傷蘇生等救急医療の教育研究拠点
福岡大学病院 福岡地域外傷蘇生センター

【改革の実現】

＜研究・教育機能＞

- 高度医療人材の輩出数増加
- 学術的なアウトプット強化
- 受託研究増加

＜診療機能＞

- 急性期医療の機能強化と診療の効率化
- 医師の労働時間管理による研究・教育時間の確保

＜財政の安定化＞

- 救急搬送件数・手術件数増加 → 入院患者数・単価上昇
- 支出削減と高度かつ最先端医療機器への先行投資
- 診療収益でさらなる診療業務の負担軽減へ投資

＜教育＞

- 外傷蘇生教育プログラムによる卒前・卒後シームレス教育および指導者育成
- 実診療+症例レビュー+シミュレーション教育 (AI手術支援プログラムや手術ナビゲーションシステムの利用)

＜診療＞

- 防ぎ得た外傷死の減少
- 重症外傷受け入れと救急搬送数・手術件数増加
- 更なる高度医療の推進
- 医療DXの推進

＜研究＞

- 外傷蘇生疫学研究
- 基礎研究
- 産学連携共同研究による次世代技術開発

教育・研究への
リソースのシフト

改革を実現するための、構造転換・体制構築

地域での連携強化

- 外傷・救急等急性期医療の連携を協議する会議体の構成を検討：行政、医療関係団体、基幹病院、県内の他大学との連携を想定、および行政・消防との合同訓練実施
- 福岡市と福岡大学病院の連携協定締結を活用した市民への啓蒙活動

病院運営の構造転換

- 福岡大学病院長によるマネジメント体制強化の下、病院長直轄で迅速な意思決定と運営改善
- 福岡大学病院改革推進委員会 (センター設置予定) 教育・研究・医療に関わる主要部門の責任者が参画 福大病院改革プランを組織横断的かつ迅速に推進
- 診療科別経営カンファレンス 診療データに基づく目標設定、収益改善戦略の策定

法人内での連携強化

- 理事会、経営協議会
 - 病院経営改革特別委員会 (3つの会議体とも病院長は構成員)
- 法人本部及び福岡大学3病院連携による組織力・機動力の強化、効率性向上など経営面での一体的・抜本的な改革を実現

